

鈴木大使主催 新年賀詞交歓会 御挨拶

(2026年1月7日(水)14:30- 於:大使館2階ボールルーム)

皆様、新年あけましておめでとうございます。

本日は、ロンドンのみならず、北アイルランドやウェールズ、ヨークシャー、イーストミッドランド、ケント、ミルトンキーンズといった地域から遠路はるばるお越し頂き感謝申し上げます。今日こうして、多くの皆様の御参加をいただき新年賀詞交歓会を開催できることを大変嬉しく思います。

昨年は、初めての経済版「2+2」の東京開催、プリンス・オブ・ウェールズ率いる空母打撃群の日本寄港、34年振りの大相撲ロンドン公演など、日英関係が大きく進展しました。

本年も日英のグローバルで戦略的なパートナーシップを全力で前に進めてまいります。例えば、GCAP を通じた次世代戦闘機の共同開発、共同訓練等の安保協力、インテリジェンス協力、日英 EPA や CPTPP を通じた貿易・投資の促進、経済安保での連携、量子・AI といった先端技術協力などが代表的なものとして挙げられます。

文化・スポーツ面では、2月に大英博物館での Samurai 展、スコットランドで北斎オペラ、3月のサッカー日イングランド戦、春のお花見、7月のオペラ竹取物語、秋にはジャパン祭り、11月にラグビー日本代表の来訪と盛り沢山です。

桜植樹プロジェクトは、今シーズンに 800 本以上の桜の植樹が予定され、目標の1万本に向けて着実に前進していることを嬉しく思います。

私自身、昨年は数多くの場所を訪問しましたが、まだまだ訪問していないところが沢山あります。今年多くの地方を訪問して日英の協力・交流の輪を更に広げていきたいと考えています。

本年は馬年です。馬は「前進」、「飛躍」、「活力」の象徴とも言われています。それにあやかって疾走する馬のごとく、この1年を駆け抜けていきたいと思います。

本日御出席いただきました皆様一人一人にとりましても、大きく飛躍される一年になることを祈念しています。

何かお困りのことがあれば、私や大使館の担当に遠慮無くおっしゃってください。最大限の御支援をさせて頂きます。

さて、本日のお食事は、大使公邸の村上料理長及び林料理人からおせち料理として、吉兆のシグニチャーディッシュである鷄松風と厚焼玉子、それに加えて、黒豆、田作り、数の子、紅白なます、海老旨煮を、そして、池上次席公邸の澤田料理人から和牛寿司と鯛の雲丹味噌焼きを、さらに、ハル山下シェフの協力を得て、ジャパンハウス・ロンドンにあるレストラン Akira からお正月にふさわしい料理の数々を御用意いただきました。

飲み物は、昨年に引き続き、酒サムライ様や JFC 様に御協力いただき多くの種類の日本酒を、またアサヒ様とサッポロ様にはビールを御提供いただきました。会場を彩る花は Ikebana International から池坊のサチコ・ピアース様 (Sachiko Pearce) に御用意いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

最後になりますが、本日御出席いただいた皆様とその御家族の皆様の御健勝、そして本年が皆様の企業や団体にとって、多くの成功と躍進をもたらす素晴らしい年となりますよう心より祈念申し上げ、私の新年の御挨拶とさせていただきます。

【Check against Delivery 実際の発言と多少内容が異なることがあります】

ありがとうございました。

(了)